

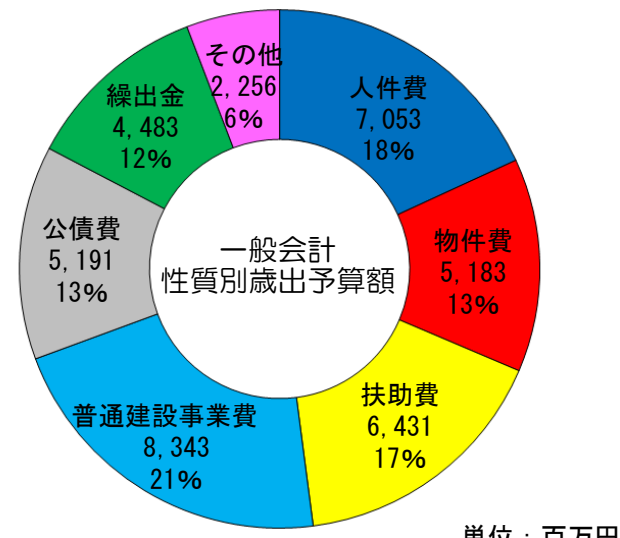
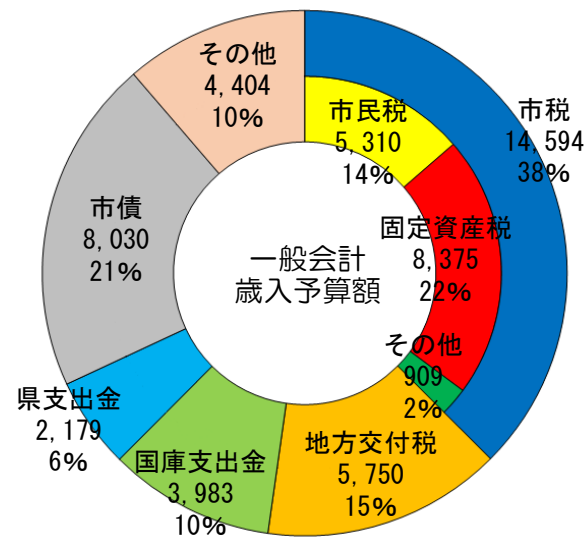
## 平成26年度 四国中央市の当初予算概要

平成26年度一般会計の予算規模は、389億4,000万円で、前年度に比べ40億4,000万円の大幅な増額となり、合併後最大規模の当初予算となりました。増額となった主な要因としては、消防防災センター建設事業（仮称）など平成25年度に債務負担行為を行った事業費として44億5,000万円を計上したことなどによるものです。

また、特別会計については、前年度比2.3%減の総額285億7,930万円となりました。介護保険事業特別会計では5億6,700万円の大幅な増額となりましたが、西部臨海土地造成事業特別会計、寒川東部臨海土地造成事業特別会計、国民健康保険事業特別会計などでは減額となっています。

一般会計及び特別を合わせた予算規模は、前年度より5.2%増加し、総額で675億1,930万円となりました。

予算規模	平成26年度予算	平成25年度予算	増減額	増減率
一般会計	389億4,000万円	349億円	40億4,000万円	11.6
特別会計	285億7,930万円	292億6,320万円	▲6億8,390万円	▲2.3
事業会計	112億7,800万円	83億6,180万円	29億1,620万円	34.9
財産区特別会計	749万円	754万円	▲5万円	▲0.8



単位：百万円

## 四国中央市議会議員政治倫理条例

本条例は、議員の政治倫理を確立し、地方自治の本旨にのっとり、市民の代表者として市政に携わる機能と責務を深く自覚するとともに、市民の信頼に値する倫理的義務を負うことを認識し、公正で開かれた民主的な市政発展に寄与することを目的として、平成23年4月1日から施行されています。

## 議員名簿(議長・副議長・委員会)

議長 山本 照男 副議長 谷内 開 ◎委員長 ○副委員長

常任委員会				特別委員会			
総務	教育厚生	環境経済	建設水道	行政改革調査	議会改革調査	暮らしやすいまちづくり調査	議会運営委員会
◎越智 滋 ○後藤 光雄 大野 勝 三好 平 篠永 誠司 山本 照男 石津千代子	◎苅田 清秀 ○石川 剛 国政 守 宇高 英治 原田 泰樹 西岡 政則 三谷つぎむ	◎飛鷹 總慶 ○三宅 繁博 河村 郁男 谷内 開 井川 剛 青木 永六	◎吉田善三郎 ○山川 和孝 眞鍋 幹雄 谷 國光 曾我部 清 石川 秀光	◎河村 郁男 ○大野 勝 三好 平 三宅 繁博 篠永 誠司 井川 剛 谷 國光 曾我部 清	◎宇高 英治 ○国政 守 後藤 光雄 山川 和孝 苅田 清秀 吉田善三郎 青木 永六 西岡 政則	◎石津千代子 ○眞鍋 幹雄 石川 剛 原田 泰樹 飛鷹 總慶 石川 秀光 越智 滋 三谷つぎむ	◎曾我部 清 ○越智 滋 篠永 誠司 吉田善三郎 宇高 英治 青木 永六 飛鷹 總慶



四国中央市議会

# 第4回 議会報告会

平成26年5月31日(土) 午後7時～  
(川之江文化センター 3階 第1講義室)

1. 開会
2. 副議長あいさつ
3. 議員自己紹介
4. 市議会の役割について
5. 平成26年度四国中央市の当初予算について
6. 3月定例会報告  
○総務委員会 ○教育厚生委員会  
○環境経済委員会 ○建設水道委員会
7. 質疑・応答
8. 閉会



四国中央市マスコットキャラクター『しちちゅ〜』

## 四国中央市議会の役割

市役所は、福祉や教育、上下水道など市民生活に密着した仕事をしています。このため、市民の意見が市政に反映されなければなりません。

市を住みよいまちにしていくためには、市民が自ら考え、話し合い、問題を解決していくことが最も望ましい姿です。

しかし、市民全員が集まって話し合うことは実際には不可能です。そこで、選挙によって市民の代表者である「市議会議員」と「市長」を選び、市民に代わって市政を運営しています。

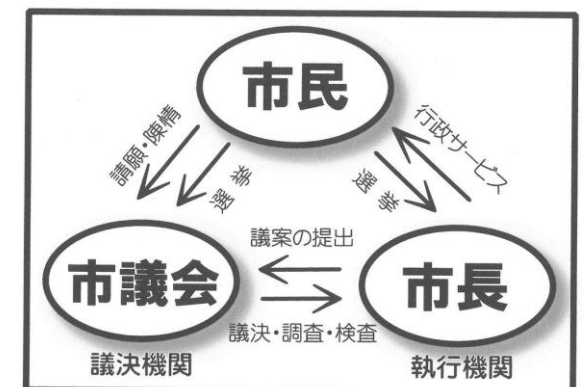
市議会は、市民から選挙で選ばれた議員で構成され、市長が提案する事業計画や予算、条例案などを市民の立場で決定する議事機関、また適正な事務執行を行っているかを市民の目線でチェックする監視機関としての役割があります。

市長は市議会の決定に沿って施策を実施することになり、市議会と市長は独立・対等な立場で、お互いにけん制・協力し合って、よりよい市政の実現を目指しています。

現在の四国中央市議会は、議員定数が26名で、議員の任期は平成24年11月28日から平成28年11月27日までの4年間です。

議長と副議長は、議員の中から選ばれ、議長は市議会を代表する最高責任者であり、議場の秩序を保ち、議事を整理し、議会の事務を処理します。副議長は議長に事故があるとき、または欠けたときに議長の代わりに職務を行います。

そして、市議会の運営を円滑に進めるために、議会には議会事務局が置かれています。議会事務局では、定例会、臨時会、委員会等の運営の補助や議会活動に必要な調査、会議録の作成、議会だよりの発行などの事務を行っています。



## 総務委員会

### ○平成26年度 四国中央市 一般会計予算〔所管分〕

- ・第2次総合計画策定〔継続〕 352万円  
3カ年かけて取り組んでおり、今年度が策定の最終年度となります。
- ・市民文化ホール建設事業〔継続〕 17億3,800万円  
365日賑わう文化拠点として、市民文化ホールの建設に取り組んでおり、早期完成を目指します。
- ・消防防災センター（仮称）建設事業〔継続〕 16億144万円  
年度内に建設工事を完了し、平成27年4月の供用開始を目指します。
- ・C I 関連事業〔継続〕 222万円  
「しこちゅ〜」の着ぐるみを追加制作します。
- ・防災有線告知システム整備事業〔継続〕 4億3,543万円  
市民の安心・安全を確保するための防災有線告知システムの運用を開始し、災害に強い情報伝達体制の確立を図ります。
- ・市発足10周年記念事業 997万円  
記念式典ほか「出張！なんでも鑑定団」「子ども議会」「サイクリング大会」「綱引き」の開催及び「しこちゅ〜カルタ」の制作が行われます。
- ・愛媛県知事選挙費 3,172万円  
県知事の任期は、平成26年11月30日です。
- ・愛媛県議会議員選挙費 1,279万円  
議会議員の任期は、平成27年4月29日です。

### ○平成25年度 四国中央市 一般会計補正予算（第8号）〔所管分〕

- ・財政調整基金積立金 6億5,191万円  
財政調整基金は、この補正予算で約65億5,000万円となります。

### ○四国中央市 指定金融機関の指定について

指定期間	株式会社伊予銀行	平成26年10月1日から平成29年9月30日まで
	株式会社愛媛銀行	平成29年10月1日から平成32年9月30日まで

## 教育厚生委員会

### ○平成26年度 四国中央市 一般会計予算〔所管分〕

- ・四国中央市学力調査事業 186万円  
今年度より、小学4年生と中学1年生を対象に、市独自の学力調査を行います。これにより、国及び県の学力診断調査を合わせると、小学4年生以上の児童生徒一人一人の相対的な学力の実態を把握することができます。各学校では、調査結果の分析を通して、結果の要因や自校の課題を明確にして指導方法の改善を図り、児童生徒の学力向上に努めます。
- ・国民体育大会開催準備事業 380万円  
平成29年に愛媛県での開催が内定している「第72回国民体育大会」の円滑な運営に向けて、本市の推進母体である「四国中央市準備委員会」に対し補助金を交付し、国体開催の機運を醸成するための広報啓発、調査研究、本市開催競技の普及等を図ります。
- ・地域生活支援事業 1億5,384万円  
障害者が地域において日常生活または社会生活を営むために必要な事業として、日常生活用具給付、意思疎通支援、移動支援、訪問入浴、地域活動支援センターや24時間安心コールセンターの運営委託などのほか、就労支援や相談支援体制の強化を図ります。
- ・地域子育て支援拠点事業 2,993万円  
就園前の乳幼児を抱えた親子が一緒に集い、気軽に交流を図れる場づくりとして地域子育て支援拠点事業を行っており、市内に6カ所が設置されています。平成26年度は、親子ふれあい広場「ふわりん」を週3日型から5日型に、親子のくつろぎスペース「にこにこルーム」を週5日型から6日型に利用日を拡大し、子育ての悩みや不安を話し合える環境をより充実させていきます。



えひめ国体マスコット  
みきゃん

## 環境経済委員会

### ○平成26年度 四国中央市 一般会計予算〔所管分〕

#### 【質疑応答の紹介】

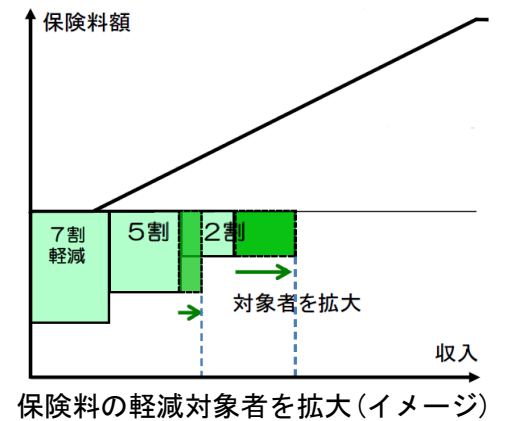
- （議員）戸籍や住民票などのコンビニ交付の検討はしないのか。  
（答）マイナンバー制度の導入開始に合わせ導入できるよう研究している。
- （議員）住民票写しなどの第三者交付の本人通知制度は、弁護士等の業務を阻害する問題があり導入には慎重さが求められる。  
（答）すべての第三者交付を本人に通知する予定だが、詳細は今後研究したい。
- （議員）企業合同就職説明会事業の取り組み状況は。  
（答）四国内の大学・高専に案内し、市内企業20社と93名の学生が参加し、企業・学生双方にメリットがあったと考えている。
- （議員）アイ・クリーン、エコトピアひうち管理費を随意契約から競争入札に切り替える経緯は。  
（答）伊予三島清掃センターの廃止を機に随意契約から競争入札に切り替える。

### ○平成26年度 四国中央市 国民健康保険事業特別会計予算

国民健康保険料のうち、医療分・介護納付金分の上限をそれぞれ2万円引き上げ、最高限度額を81万円とする一方、保険料の軽減判定所得の準額を見直し、応益割（均等割・世帯割）の5割及び2割軽減の対象者を拡大する。

### ○平成26年度 四国中央市 後期高齢者医療保険事業特別会計予算

後期高齢者医療保険料のうち、均等割額が1,037円（2.35%）引き上げ年額45,231円とする他、最高限度額を2万円引き上げ57万円となる。また、国民健康保険と同様に、保険料の軽減判定所得の基準額を見直し、均等割の5割及び2割軽減の対象者を拡大する。



## 建設水道委員会

### ○平成25年度 四国中央市 一般会計補正予算（第8号）〔所管分〕

- ・公共土木施設災害復旧費 道路橋りょう災害復旧費 3,700万円  
下川町の竹花橋付近が、今年の台風により山腹斜面が崩壊。延長32メートル、幅員4メートルの復旧工事を行う。
- ・塩谷・小山線街路改良事業 ▲1,909万円  
用地交渉の遅れによる減額補正だが、事業の進捗率は43%で平成28年度末までには終了する予定である。
- 平成26年度 四国中央市 一般会計予算〔所管分〕
- ・港湾施設管理委託金（歳入） 7,854万円  
前年に比べて、約1,200万円減額している理由は、県が金子ふ頭用地の占用料等を減免した事や入港船舶数の減少がある。
- ・公営住宅整備事業（歳出） 1億6,173万円  
公営住宅整備工事のうち国補助分が9,511万円、市単独分が4,200万円等で、平成22年度から計画的に屋上防水や爆裂に伴う外壁塗装、手すりをスチールからアルミに変更する等を行っている。この他、設計等委託料として962万円を計上。
- ・都市計画業務等委託料（歳出） 559万円

平成24年度から26年度末を目標に、用途地域の見直しを行っている。主に、住工混在地区のあり方や、企業流出を踏まえて工業と農業の調整、バイパスの延伸等による道路沿線の用途などについて検討中である。

### ○市道路線の認定及び変更について

川之江町井地の路線名・井地新開線や、寒川町江ノ元の路線名・江之元西通り線など、今回4路線が認定及び変更されました。